



作品の面白さ、十分に味わえていますか？

国際バカロレアの文学教師が新しい「読み」の可能性を探す

「読み方」の幅をぐんと広げるために！
「空白」「象徴」「比喩」「多様性」「ジャンル」「結末」「時間」「文体」「リズム」「身体言語」
人気作品を20の手法で解釈。読解力を深めて作品の面白さを存分に味わい尽くすための文学入門書

本書で取り上げている作品

宮沢賢治『注文の多い料理店』 安部公房『砂の女』
樋口一葉『たけくらべ』 三島由紀夫『金閣寺』
萩原朔太郎『月に吠える』 中原中也『サーカス』
川上弘美『神様』 村上龍『コイン・ロッカー・ベイビーズ』
綿矢りさ『蹴りたい背中』 川上未映子『ヘヴン』
ヘミングウェイ『殺し屋』 コナン・ドイル『シャーロック・ホームズ』
etc.....

やさしい
文学レッスン



その作品の
おもしろさ、
十分に
味わえて
いますか？

『やさしい文学レッスン 「読み」を深める20の手法』

著：小林真大 定価：1900円＋税 仕様：四六判、並製、320p、2C ISBN:978-4-8441-3779-5 C0090

世間から高く評価されている小説のおもしろさが理解できない
有名な作家が書いた小説だからと思って読み始めたものの、面白さがわからない・・・

- ・村上龍の作品は文字の「リズム感」と「文の長さ」で人物の躍動感が際立つ
 - ・綿矢りさ『蹴りたい背中』の冒頭は、“空白”があることで読者の想像力を促す
 - ・三島由紀夫『金閣寺』は作者本人が追求し続けた「美」が潜んでいる
 - ・罗兰・バルトが提唱する「記号論」を応用するとイデオロギーを見抜ける？
- 読む幅が広がると、今まで知らなかった面白さがわかる！

※新刊分は別途注文書にて
お願いいたします。

冊

文学レッスンシリーズ 第2弾

新刊の告知（※こちらは別途 FAX を送っています）



『あじわう文学レッスン 文字と符号からひも解く小説のしくみ』

著：小林真大 定価：1800円＋税 仕様：四六判、並製、288p、2C ISBN:978-4-8441-3789-4 C0090

10月20日
発売予定

芥川賞・直木賞受賞作家の人気作品や、誰もが知る
近現代文学作品を「ミクロ」と「マクロ」の視点で読み解く。
文章の工夫・作家の意図・語り手の力など、異なった視点から
作品をじっくり読み、作品を何十倍も面白く読むコツを知る。

注文書

帳合・貴店名

ご担当者名

雷鳥社
RAICHOSHA

FAX 03-5303-9567

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-4-12 TEL 03-5303-9766

MAIL info@raichosha.co.jp

※おかけ間違いにご注意ください。